

令和元年度 「『授業改善』のための調査」報告書

東北女子大学 FD 委員会
[R3.1]

目次

1. 実施方法.....	4
(1) 実施期間.....	4
(2) 実施・回収方法.....	4
(3) 実施科目.....	4
(4) 調査項目.....	4
(5) 集計方法.....	4
(6) 回答率.....	4
(7) 結果の公表方法.....	4
2. 結果.....	5
(1) 年度別×学科別の14項目の平均値.....	5
(a) 学科別の検討.....	5
(b) 両学科の共通点.....	6
(2) 学年、学科別の平均値—健康栄養学科.....	6
(3) 学年、学科別の平均値—児童学科.....	7
3. まとめ：今後の課題.....	8
4. 付録.....	9

1. 実施方法

(1) 実施期間

授業評価の実施時期は、半期科目・通年科目ともに前期末及び後期末の年 2 回とした。期間としては、前期は 7 月または 9 月に講義終了後、後期は 1 月または 2 月に原則的にその最終講義またはその前の回に実施した。

(2) 実施・回収方法

授業評価は、学期の最終講義か、またはその前の講義中か後に、学生が学内 WiFi から入力サイトの WEB に接続して行った。

(3) 実施科目

卒業研究、学外実習（および一部その関連）科目を除く、全開講科目を対象とした。

(4) 調査項目

（付録「授業改善」のための調査用紙 参照）

調査項目は、選択式回答(自由記述欄を含む 14 項目、5 段階評価)である。教員の授業についての評価 8 項目(項目番号 1~8)、学生自身の授業の取り組み方についての評価 5 項目(項目番号 9~13)、総合的な授業満足度 1 項目(項目番号 14)の計 14 項目からなる。

なお、入力は学籍番号、学部・学年・授業科目名・授業担当者名である。

これ以降、「授業についての評価（項目番号 1~8）」を「教員の授業評価（Q1~Q8）」、「学生自身の授業の取り組み方についての評価（項目番号 9~13）」を「学生の自己評価(Q9~Q13)」と述べる。

(5) 集計方法

調査を実施した全授業科目の科目番号に基づき、すべての調査項目について各開講科目別にデータ処理を行った。

(6) 回答率

実施対象科目におけるアンケート実施状況は、令和元年度前・後期において 100 パーセントである。アンケートの回答率は、前期は 74%、後期は 61%であった。（表 1）。

表 1 「『授業改善』のための調査」アンケート実施状況

	実施科目数	履修登録者延べ人数	回答数	回答率
令和元年度前期	139	3606	2667	73.96%
令和元年度後期	130	3194	1934	60.55%

(7) 結果の公表方法

個々の科目の集計結果は、次年度授業内容の改善に役立てるために、各科目の担当教員にフィードバックを行った。（付録「学生による授業評価アンケート集計結果表（科目別）」参照）また、全体の集計結果については、報告書を作成し、学内の教員に公表した。

2. 結果

(1) 年度別×学科別の 14 項目の平均値

以下は健康栄養学科、児童学科の各質問項目についての平均点を年度別に整理したものである。

	健康栄養学科*			児童学科		
	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 元年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 元年度
1 興味関心	4.1	4.3	4.3	4.2	4.4	4.3
2 シラバスのチェック	3.5	4.0	3.8	3.1	3.7	3.5
3 予習・復習	3.6	4.0	3.8	3.6	3.9	3.7
4 授業への質問	3.3	3.7	3.5	3.6	3.8	3.6
5 私語などしない	4.4	4.7	4.6	3.7	4.5	4.4
6 内容理解	4.1	4.3	4.3	4.2	4.3	4.3
7 目的明確さ	4.3	4.4	4.3	4.3	4.5	4.3
8 教員熱意	4.3	4.5	4.4	4.5	4.5	4.5
9 話し方明瞭・速さ	4.1	4.3	4.2	4.3	4.3	4.3
11 学習内容量	4.1	4.3	4.2	4.2	4.3	4.2
12 教材の工夫	4.1	4.3	4.3	4.1	4.3	4.3
13 シラバスと内容一致	4.4	4.5	4.3	4.2	4.6	4.2
14 総合満足度	4.2	4.4	4.3	4.3	4.4	4.3

*平成 29 年度は 1-3 年生を対象とした数値となっている。

(a) 学科別の検討

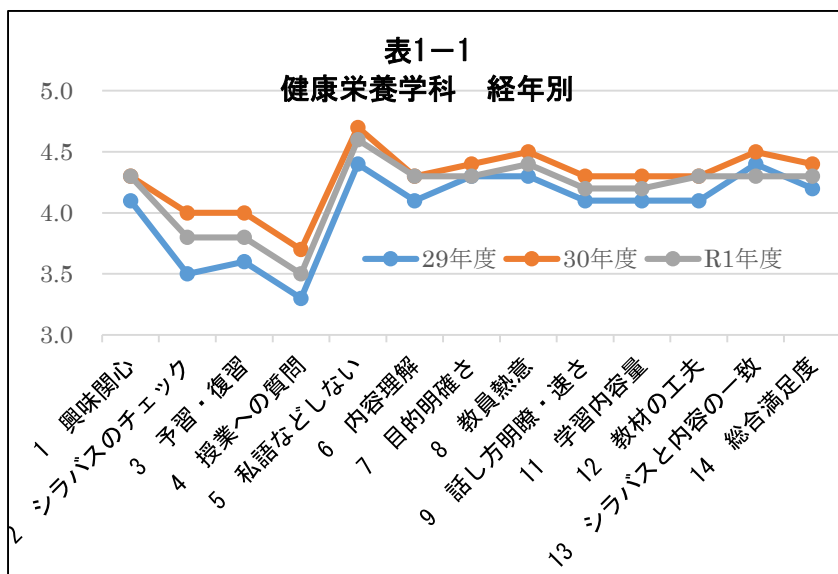


表1-1 から、健康栄養学科の数値を年度ごとに比較すると、全体的な傾向としては例年と変わるところはないものの、令和元年度の特徴として、学生によるシラバスのチェック、予習復習、質問、シラバスと内容の一致の四項目について、特に平成 30 年度に比べて値が低下していることがわかる。このうち前三者の項目は、学生の授業への積極的な参加

度を測るものであり、その意味では、昨年度いったん上昇した値が今年度について下がっていることは注意を要する点である。シラバスとの内容の一致については、学生はシラバスをよくチェックしていないということとの関係を検討する必要があると思われる。

表1-2
児童学科 経年別

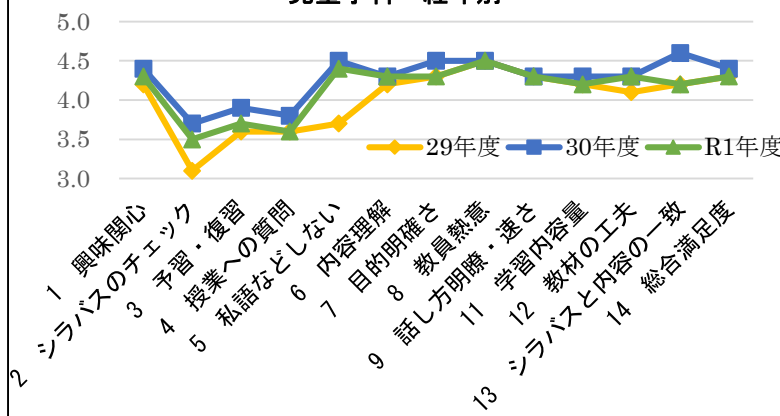


表1-2から、児童学科の数値を年度ごとに比較すると、健康栄養学科同様、シラバスや予習復習、授業への質問の項目で、昨年度に比べ数値が低くなっている。また、13シラバスと内容の一致の項目について、昨年度から値が低くなっていることがわかる。そのほかの項目についても、わずかながら数値が低いことが見て取れる。

(b) 両学科の共通点

両学科の共通点として、学生の授業への積極的な参加が（数値上は）見られなくなっていることが懸念される。この点については、今年度、昨年度のデータから、学生の積極的な参加が見られる科目を担当する教員に対してヒアリングを行っており、特に予習復習、質問については、課題を出すことや、質問のしやすい教材・環境整備が重要であるとの認識を得ている。今後これをもとに対策をとる。

(2) 学年、学科別の平均値—健康栄養学科

学科別の平均値への学年による差異の影響を見るために、学科別の平均値を学年別に整理した。

	令和元年度							
	前期			後期				
	健康栄養			健康栄養				
	1年	2年	3年	1年	2年	3年	4年	
1 興味関心	4.3	4.2	4.4	4.3	4.3	4.4	4.6	
2 シラバスのチェック	3.4	4.0	4.3	3.5	3.9	4.3	4.7	
3 予習・復習	3.4	4.0	4.1	3.5	4.0	4.2	4.3	
4 授業への質問	3.0	3.6	3.9	3.5	3.6	3.8	4.3	
5 私語などしない	4.6	4.4	4.6	4.6	4.5	4.5	4.9	
6 内容理解	4.2	4.1	4.4	4.3	4.3	4.3	4.6	
7 目的明確さ	4.2	4.3	4.4	4.4	4.3	4.4	4.6	
8 教員熱意	4.4	4.3	4.6	4.4	4.3	4.5	4.4	
9 話し方明瞭・速さ	4.1	4.2	4.5	4.3	4.1	4.3	4.7	
10 学習内容の難易度	4.1	4.2	4.4	4.3	4.1	4.3	4.7	
11 学習内容量	4.1	4.2	4.3	4.3	4.2	4.3	4.6	
12 教材の工夫	4.2	4.2	4.4	4.3	4.2	4.3	4.7	
13 シラバスと内容一致	4.1	4.4	4.5	4.2	4.4	4.4	4.7	
14 総合満足度	4.2	4.2	4.4	4.4	4.2	4.3	4.6	

* 前期健康栄養学科 4年は該当科目なし

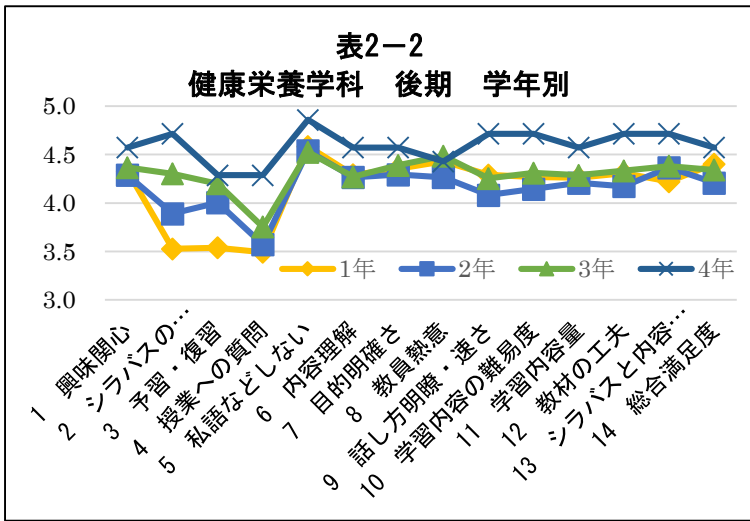
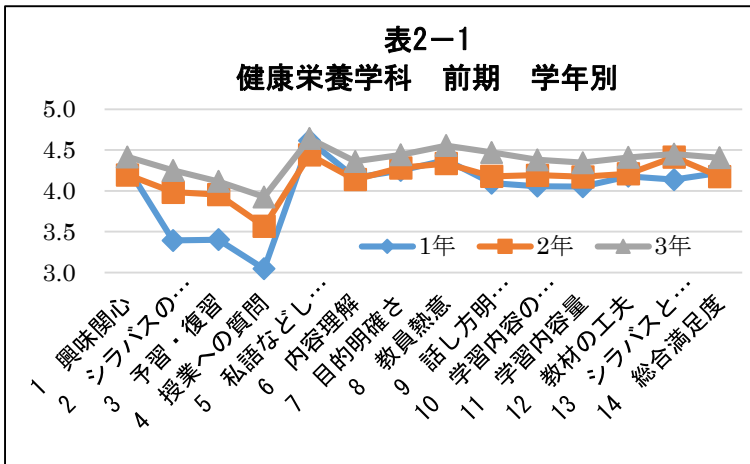


表2-1と表2-2からも明らかなように、健康栄養学科の場合学年が上がるにつれて授業参加への積極性が上がることがわかる。他方で、1年次の科目については、シラバスのチェック、予習復習、授業への質問（後期は2, 3年生も）の項目の値が著しく低くなっている。そのため、表1-1に表れていた全学年平均での消極的な姿勢は、健康栄養学科の場合、特に1年次学生の評価に大きく影響を受けたものであることがわかる。

ただし授業への質問をあまりしないということについては、1~3年次の学生に共通してみられる傾向である。学生が疑問なく学習を行えているということか、あるいは積極的な学びを行う必要性を感じていないか、学科での特に初年次学生に求める全体としての到達目標に照らして確認をする必要があると思われる。

(3) 学年、学科別の平均値—児童学科

	令和元年度							
	前期				後期			
	児童				児童			
	1年	2年	3年	4年	1年	2年	3年	4年
1 興味関心	4.3	4.4	4.3	4.5	4.3	4.2	4.3	3.8
2 シラバスのチェック	3.0	3.9	3.8	3.8	3.2	3.7	3.9	3.4
3 予習・復習	3.3	4.0	3.9	4.1	3.5	3.8	4.1	3.6
4 授業への質問	3.0	3.9	3.8	3.9	3.4	3.8	4.0	3.1
5 私語などしない	4.3	4.4	4.3	4.6	4.2	4.2	4.3	4.5
6 内容理解	4.2	4.4	4.1	4.5	4.2	4.1	4.2	3.9
7 目的明確さ	4.3	4.4	4.2	4.6	4.4	4.3	4.3	3.8
8 教員熱意	4.6	4.5	4.3	4.6	4.4	4.4	4.5	4.0
9 話し方明瞭・速さ	4.3	4.3	4.1	4.5	4.2	4.2	4.3	3.8
10 学習内容の難易度	4.2	4.3	4.1	4.5	4.2	4.1	4.2	3.8
11 学習内容量	4.2	4.3	4.1	4.5	4.2	4.1	4.2	3.7

12 教材の工夫	4.3	4.3	4.2	4.6	4.3	4.2	4.3	3.7
13 シラバスと内容一致	4.0	4.4	4.3	4.5	4.0	4.3	4.4	3.8
14 総合満足度	4.3	4.4	4.1	4.5	4.3	4.2	4.3	3.9

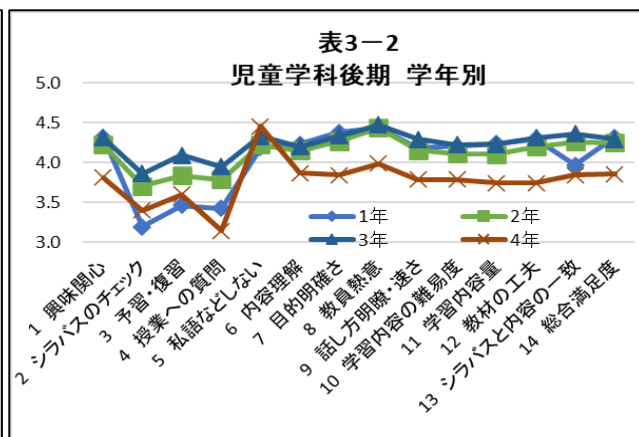
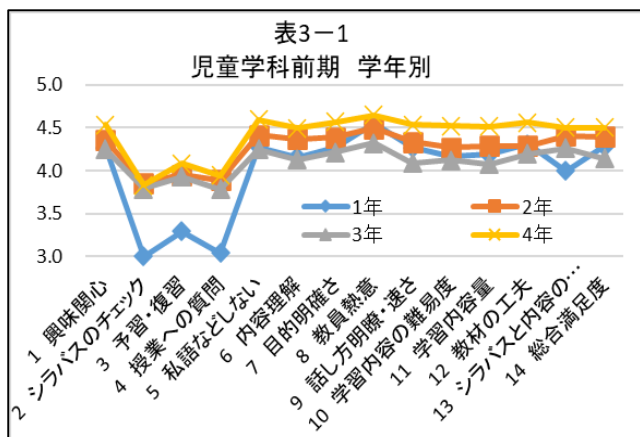


表3-1、3-2から、1年次学生の消極的な姿勢が見て取れる。1年次学生は、改訂された新カリキュラムに基づく学習を行っている。新カリキュラムは1年次前期後期に基礎ゼミを導入するなど、4年次の卒業論文に至るまでを視野に入れた科目配置になっているが、これだけでは学生の積極的な学びの姿勢にはつながらないことが明らかとなった。もっとも、この結果が学生が学びの到達目標への到達度を下げていることと同視されるかどうかについては、健康栄養学科同様、検討が必要であろう。

加えて、4年次後期の授業についての評価が他に比べて著しく低いことも見て取れるが、これは特定のいくつかの授業の評価が大きく影響しているからである。当該科目については令和2年度に教員が変更されているため、令和2年度の評価を含めて検討する必要がある。

また、平成29年度の1年生（本報告書内の3年生）、平成30年度の1年生（同2年生）は他学年に比べて、シラバスのチェックや予習復習、質問の項目の値が（若干）高く、過去年度はむしろ学年が上がるにつれて積極性が下がる傾向がみられていた。この点も、カリキュラム改定の影響であるか、それとも1年生全般に共通する何らかの性質に起因するものなのか、検討が必要である。

3. まとめ：今後の課題

(1) 回答率の向上

令和元年度前期 授業改善のためのアンケート

学年ごとの回答率

1N	2N	3N	4N	N全体
89.4%	74.8%	67.1%		75.9%
1C	2C	3C	4C	C全体
90.0%	62.9%	64.7%	76.5%	73.7%

令和元年度後期 授業改善のためのアンケート

学年ごとの回答率

1N	2N	3N	4N	N全体
68.3%	43.7%	49.6%	70.0%	55.2%
1C	2C	3C	4C	C全体
68.4%	55.7%	68.3%	55.1%	64.0%

*N=健康栄養学科 C=児童学科 *○N=健康栄養学科○年次学生 ○C=児童学科○年次学生

令和元年度の回答率は上記のとおりであるが、特に後期の回答率が低くなっていることがわかる。4Nの回答率は70.0%と比較的高いが、これも科目数も受講者数も少ない中での数値であり、そこを除けば全体の回答率はさらに下がることになる(53.8%)。前期よりも後期の方が回答率が低くなる傾向は前年度も見られたが、平成30年度の回答率が、両学科平均で前期84%、後期71%であったこと、およびこの数値も前年度(平成29年度:前期85%、後期79%)よりも下がっていたことに鑑みれば、対策の必要を感じる。昨年度の報告書においては、「意図的に回答しない学生の割合が年度により大きく変わるとも考えにくく、教員による呼びかけが不十分だったとも考えられる。」と記述したが、そもそも学生がアンケートに回答する意欲を失っている可能性も否定できない。本報告書作成時点で、令和2年度前期のアンケート回答率も明らかになっているが、N全体が58%、C全体が62.9%であり、前期の回答率としては前年度からの比較でNが15%程度、Cが10%程度低下していることがわかる。

(2) 学生の積極性について

6ページ、2(1)(b)にあるように、特に予習復習、質問については、課題を出すことや、質問のしやすい教材・環境整備が重要であるとの認識を得ており、この点については今後学科で対策をとる必要があると思われる。ただし、消極的な学びの姿勢が、到達目標との兼ね合いでどのように評価しうるかは検討の必要があると思われる。例えば、児童学科の平成29年度の調査では予習復習、質問の項目が前年、翌年に比べ低くなっているが、平均的な学生の到達度が、これに影響を受けているかどうかは、各科目担当教員の実感と併せて調査する必要があると思われる。

4. 付録

学生による「授業改善」のための調査(質問項目)

「授業改善」のための実施について(前期・後期)

Webによる「授業改善」のための調査実施のお願い

学生による授業改善のための調査 集計結果表(科目別)

学生による授業改善のための調査

*必須

自分の授業取り組みについての評価

1.授業の内容に興味・関心を持つことができた*

1 2 3 4 5
全くあてはまらない よくあてはまる

2.この授業のシラバスをよくチェックした*

1 2 3 4 5
全くあてはまらない よくあてはまる

3.この授業のために予習・復習をした*

1 2 3 4 5
全くあてはまらない よくあてはまる

4.この授業で質問等を積極的にした*

1 2 3 4 5
全くあてはまらない よくあてはまる

5.授業とは関係のない行為（私語や携帯電話の使用など）をしなかった*

1 2 3 4 5
全くあてはまらない よくあてはまる

6.総合的に判断して自分はこの講義の目標を達成することができたと思う*

1 2 3 4 5
全くあてはまらない よくあてはまる

授業に対する評価

7.この授業の目標、目的は明確であった*

1 2 3 4 5
全くあてはまらない よくあてはまる

8.この授業において、教員の熱意が感じられた*

1 2 3 4 5
全くあてはまらない よくあてはまる

9.教員の話し方は明瞭でかつ適切な速さであった*

1 2 3 4 5
全くあてはまらない よくあてはまる

10.この授業の学習内容の難易度は適切であった*

1 2 3 4 5
全くあてはまらない よくあてはまる

11.この授業の学習内容の量は適切であった*

1 2 3 4 5
全くあてはまらない よくあてはまる

12.この授業では理解向上のために、教材や講義の方法などの工夫がなされていた*

1 2 3 4 5
全くあてはまらない よくあてはまる

13.シラバスと授業内容が一致していた*

1 2 3 4 5
全くあてはまらない よくあてはまる

総合評価

14. Q1からQ13までを総合的に考慮してこの授業で満足いく学びを得ることができた*

1 2 3 4 5
全くあてはまらない よくあてはまる

自由記述

この授業の良いと思ったところ、要望等、調査について気づいたことを入力してください

回答を入力

戻る

送信

2019年度 前期 「授業改善」のための調査の実施について

2019年度前期に履修しているすべての科目について、Web上の専用入力フォームにアクセスし、「授業改善のための調査」に回答をお願いします。入力にはパソコン、スマートフォン、タブレット端末等から可能です。学内のWi-Fiも利用できます。(Wi-Fiの詳細は裏面)

この調査は、今後の授業をより良くする目的として実施するもので、それ以外の目的には一切使用いたしません。集計にあたっては、回答者の匿名性に配慮します。授業改善のために役立つ率直な意見をご記入ください。

回答用URL: <https://goo.gl/HznaxR> (全科目で使用しますので、ブックマーク等に登録してください)

または、QRコード読み取りアプリにて、右のQRコードを読み込んでください。

コンピュータ室から回答する場合は、共有フォルダ内「_2019前期授業改善のための調査」からも可能です。



回答期間: 原則として授業内で回答時間が指示されます。(この用紙は全科目で使用しますので無くさないように保管してください)

最終週の授業でも回答指示がなかった場合、各自で8月3日(土)までに回答してください。(集中講義は、講義終了後1週間以内)

回答科目: 2019年度 前期に履修登録している全科目(ただし学外実習、卒業論文を除く)

※回答確認欄を利用し、未回答科目がないようにお願いします。

回答確認メール: 入力したメールアドレスに回答確認メールを送信します。

項目について: ① 下記の表にある、科目番号、科目名、教員名を選択してください。

② 未入力項目があると送信できません。

③ 1科目につき、1人1回ずつ回答してください。誤って送信してしまった場合は、学務課までお願いします。

④ 学籍番号・メールアドレスはアンケートの信頼性を高めるために使用するのみで、教員には伝わりません。成績評価にも一切影響しませんので、安心して率直にお答ください。自由記述は個人を特定されない形で教員へ結果を配布します。

なお、調査に回答していない場合は、学務課より連絡することがあります。

《健康栄養学科》 ※児童学科は裏面

開講クラス	科目番号	科目名	担当教員名	回答確認欄	開講クラス	科目番号	科目名	担当教員名	回答確認欄	
1N	3101	倫理学	齋藤 雅俊		2N	3135	時事英語A	保村 和良		
	3102	生活と文学	佐々木 隆			3304	地域健康支援実習(9月集中講義)	金田 直子		
	3104	歴史学	石戸谷 繁			3305	健康科学実習	前田 朝美		
	3105	地域活性化論(8月集中講義)	小野 昇平			3310	栄養生理学	飯泉 恭一		
	3111	化学A	富田 雅弘			3311	基礎免疫学	加地 暉		
	3114	統計学	中村 友是			3314	生化学実験	加藤 秀夫、飯泉 恭一		
	3115	生命科学	友田 志郎			3317	食品学	富田 雅弘		
	3121	情報機器の操作 I	奈良 拓哉			3324	調理学実習	今村 麻里子		
	3131	英語	杉本 久美子			3326	基礎栄養学実験	加藤 出口		
	3132	生活の英語 I	保村 和良			3342	公衆栄養学	白戸 里佳		
	3151	体育 I	神 和人			3345	給食経営管理論	妹尾 良子		
	3302	社会福祉論	齋藤 史彦			3422	家庭経営学(2)	工藤 寧子		
	3308	生化学	加藤 秀夫、飯泉 恭一			3451	住居学	北原 啓司		
	3320	調理学(9月集中講義)	石見 百江			3463	保育学(2)	福士 章子		
	3325	基礎栄養学	加藤 秀夫			3472	データ解析演習	崎野 三太郎		
	3333	健康教育論	前田 朝美			3501	教職の理解	石戸谷・本山 他		
	3401	家政学原論(1)	佐々木 隆			3502	教育原理	齋藤 雅俊		
	3404	食の心理学	小林 琢哉			3503	教育心理学	小林 琢哉		
	3407	健康情報学	比内 馨			3504	教育行政	本山 敬祐		
	3446	アパレルCAD実習(1)	工藤 寧子			3506	家庭科教育法 I	林 孝子		
3701	華道	齋藤 久美子								
3702	茶道	神山 圭子								
3703	書道	工藤 昌樹								
3N	3313	解剖生理学実験	加地 暉、飯泉 恭一		4N	3201	卒業論文		実施しない	
	3319	食品科学	加藤 陽治			3349	臨地実習総合演習	西田、妹尾、前田、白戸		
	3329	スポーツ・運動栄養学(8月集中講義)	中村 亜紀			3350	給食経営管理臨地実習	妹尾 良子		実施しない
	3332	食行動論	前田 朝美			3351	公衆栄養学臨地実習	白戸 里佳		実施しない
	3337	臨床栄養管理学	西田・森光・富樫・高屋(他)・高屋(本)			3352	臨床栄養学臨地実習 I	西田 由香		実施しない
	3338	臨床栄養生化学	西田 由香			3353	臨床栄養学臨地実習 II	西田 由香		実施しない
	3340	臨床科学実験	西田 由香			3517	教育実習	教職課程委員会		実施しない
	3341	臨床福祉栄養学実習	三上 恵理			3519	栄養教育実習(事前事後指導を含む。)	前田・今村		実施しない
	3347	給食経営管理実習	妹尾 良子							
	3415	学校栄養教育論	今村・前田							
	3425	家庭管理学概論	工藤 寧子							
	3433	被服平面構成実習	葛西 美樹							
	3471	家庭電気・機械	比内 馨							
	3508	家庭科教育法Ⅲ	荒城 英子							
	3513	生徒指導(進路指導を含む。)	石戸谷 繁							
3514	生徒指導	石戸谷 繁								
3515	教育相談	三道 なぎさ								

※ 網掛部分は卒業必修科目

東北女子大学FD委員会(問合せ先:学務課)

《児童学科》									
開講 クラス	科目番号	科目名	担当教員名	回答確認欄	開講 クラス	科目番号	科目名	担当教員名	回答確認欄
1C	2108	心理学	小林 琢哉		2C	2133	英語Ⅲ	杉本 久美子	
	2109	地域活性化論	小野 昇平			2136	独語Ⅱ	比内 馨	
	2110	華道	斎藤 久美子			2201	家政学原論	佐々木 隆	
	2111	茶道	神山 圭子			2202	発達心理学	三浦 なぎさ	
	2112	書道	工藤 昌樹			2214	ICTの基礎(1)	友田 志郎	
	2125	数学	高橋 信進			2301	国語(1)	船水 周	
	2131	論文技術Ⅰ	船水 周			2303	書道	工藤 昌樹	
	2133	情報機器の操作Ⅰ	奈良 拓哉			2307	算数B	高橋 信進	
	2141	英語AⅠ	保村 和良			2309	理科B	友田 志郎	
	2143	英語BⅠ	杉本 久美子			2315	音楽表現Ⅱ(1)(声楽)	諏訪 才子	
	2161	体育Ⅰ	大島・神			2317	音楽表現Ⅲ(1)(器楽) (※担当の教員一人のみ回答)	一戸 智之	
	2201	家政学原論	佐々木 隆	櫻庭 由美					
	2202	教育原理	齋藤 雅俊	吉松 恵美					
	2205	保育原理	安川 由貴子	古川 佳子					
	2207	ピアノ基礎Ⅰ (※担当の教員一人のみ回答)	一戸 智之			2319	造形表現Ⅰ(1)(美術)	長尾 明義	
			櫻庭 由美			2321	造形表現Ⅱ(1)(工芸)	岩井 康頼	
			吉松 恵美			2323	児童体育理論	大島 義晴	
			古川 佳子			2324	身体表現(1)	大島・佐藤(陸)	
	2211	被服・調理の基礎実習	葛西・今村(麻)・工藤(寧)			2331	教職の理解	石戸谷 本山 他	
	2220	基礎ゼミⅠ	齋藤 雅俊他			2347	保育内容総論	安川 由貴子	
2236	児童文学	藤田 晴央		2356	保育研究(A)	小関 潤子			
2310	音楽Ⅰ	一戸・諏訪		2380	子どもの保健Ⅰ(1)	松尾 泉			
2701	教職の理解	石戸谷 他		2385	乳児保育(1)	松宮 ゆり			
2804	保育者論	安川 由貴子		2391	保育実習指導Ⅰ	保育士課程委員会			
2811	社会的養護Ⅰ	増田 貴人							
3C	2204	保育の心理学(2)	三浦 なぎさ		2111	自然科学概論	比内 馨		
	2216	ICT活用法(1)	奈良 拓哉		2209	卒業論文		実施しない	
	2225	データ処理入門	小林 琢哉		2220	児童社会学(1)	本山 敬祐		
	2311	生活科総論	長尾 明義		2222	児童教育学演習	長尾 明義		
	2333	教育行政	本山 敬祐		2223	特別支援教育論	松本 敏治		
	2339	生活科教育法	長尾 明義		2335	国語科教育法	船水 周		
	2341	図画工作科教育法	蝦名 敦子		2336	社会科教育法	本間 信博		
	2342	家庭科教育法	葛西・今村・工藤(寧)		2337	算数科教育法	伊藤 學		
	2344	道徳教育の指導法	齋藤 雅俊		2338	理科教育法	花田 裕		
	2348	健康の指導法	小関 潤子		2340	音楽科教育法	一戸 智之		
	2349	人間関係の指導法	吉田 裕美子		2343	体育科教育法	上野 秀人		
	2352	表現の指導法Ⅰ(1)	諏訪 才子		2345	特別活動の指導法	花田 裕		
	2354	表現の指導法Ⅱ(1)	岩井 康頼		2358	生徒指導	石戸谷 繁		
	2365	教育実習(幼)	教職課程委員会	実施しない	2359	教育相談	三浦 なぎさ		
	2366	事前事後指導(幼)	吉田 裕美子		2361	教育実習(小)	教職課程委員会	実施しない	
	2382	子どもの保健Ⅱ	福士 章子		2362	事前事後指導(小)	長尾・杉本		
	2383	子どもの食と栄養	今村 麻里子		2363	学校教育体験実習Ⅰ(小)	教職課程委員会	実施しない	
	2387	障害児保育(8月集中講義)	若林 一哉		2373	児童家庭福祉(1)	小野 昇平		
2390	言語表現	小田 光子		2389	保育相談支援	安川 由貴子			
2394	保育実習指導Ⅱ	保育士課程委員会							
※	網掛部分は卒業必修科目								
【東北女子大学Wi-Fi】									
ID: tojo-wifi									
パスワード: sakura-2019									


2019年度 後期 「授業改善」のための調査の実施について

2019年度後期に履修しているすべての科目について、Web上の専用入力フォームにアクセスし、「授業改善のための調査」に回答をお願いします。入力方法はパソコン、スマートフォン、タブレット端末等から可能です。学内のWi-Fiも利用できます。(Wi-Fiの詳細は裏面)

この調査は、今後の授業をより良くする目的として実施するもので、それ以外の目的には一切使用いたしません。集計にあたっては、回答者の匿名性に配慮します。授業改善のために役立つ率直な意見をご記入ください。

回答URL: <https://goo.gl/aBWDsV> (全科目で使用しますので、ブックマーク等に登録してください)

または、QRコード読み取りアプリにて、右のQRコードを読み込んでください。
コンピュータから回答する場合は、共有フォルダ内「_2019後期授業改善のための調査」からも可能です。



回答期間: **原則として授業内で回答時間が指示されます。**(この用紙は全科目で使用しますので無くさないように保管してください)
最終週の授業でも回答指示がなかった場合、各自で2月14日(金)までに回答してください。(集中講義は、講義終了後1週間以内)

回答科目: **2019年度 後期に履修登録している全科目(ただし学外実習、卒業論文を除く)**
※回答確認欄を利用し、未回答科目がないようにお願いします。

回答確認メール: 入力したメールアドレスに回答確認メールを送信します。

項目について: ① 下記の表にある、科目番号、科目名、教員名を選択してください。
② 未入力項目があると送信できません。
③ 1科目につき、1人1回ずつ回答してください。誤って送信してしまった場合は、FD委員会までお願いします。
④ 学籍番号・メールアドレスはアンケートの信頼性を高めるために使用するのみで、教員には伝わりません。成績評価にも一切影響しませんので、安心して率直にお答えください。自由記述は個人を特定されない形で教員へ結果を配布します。
なお、調査に回答していない場合は、学務課より連絡することがあります。

《健康栄養学科》 ※児童学科は裏面

開講クラス	科目番号	科目名	担当教員名	回答確認欄	開講クラス	科目番号	科目名	担当教員名	回答確認欄
1N	3103	日本国憲法	小野 昇平		2N	3123	プレゼンテーション論	友田 奈良	
	3112	化学B	長南 幸安			3134	科学のための英語	杉本 久美子	
	3113	物理学	比内 馨			3136	時事英語B	保村 和良	
	3122	情報機器の操作Ⅱ	奈良 拓哉			3137	生活の独語	比内 馨	
	3133	生活の英語Ⅱ	保村 和良			3306	解剖生理学	加地、飯泉	
	3152	体育Ⅱ	神 和人			3307	病態別生理学	加地 眸	
	3301	地域健康支援論	加藤 陽治			3315	栄養生化学実験	加藤 出口	
	3303	健康衛生学	倉内 静香			3316	栄養生理学実験	飯泉 恭一	
	3309	栄養生化学	加藤、出口			3322	食品学実験	富田 雅弘	
	3318	食品健康科学	前多 隼人			3328	世代別栄養学	出口、市川	
	3323	基礎調理学実習	今村 麻里子			3330	応用栄養学実習	加藤、出口	
	3327	応用栄養学	加藤、出口			3331	栄養教育論	前田 朝美	
	3403	トレーニング科学	大島 義晴			3335	臨床栄養学	西田 由香	
	3405	おいしさの科学	今村 麻里子			3346	給食経営実践論	妹尾、花田(玲)	
	3406	食品機能学	富田 雅弘			3414	健康・食生活論	加藤(秀)、今村、渡部(佳)	
	3431	家庭経営学(1)	工藤 寧子			3436	被服学実験	宮野 洋子	
	3441	被服学	葛西 美樹			3505	教育課程論	森本 洋介	
	3442	被服立体構成実習	工藤 寧子			3507	家庭科教育法Ⅱ	林 孝子	
	3461	保育学(1)	福士 章子			3510	道徳教育の指導法	松田 奈津子	
3462	家庭看護	大津 美香		3511	特別活動の指導法	花田 裕			
				3512	教育方法・技術	森本 洋介			
3N	3201	卒業論文		実施しない	4N	3201	卒業論文		実施しない
	3312	微生物学	富田 雅弘			3518	教職実践演習(中・高)	齋藤(雅)、小林、葛西 他	
	3321	食品科学実験	富田 雅弘			3520	教職実践演習(栄養教諭)	齋藤(雅)、小林 他	
	3334	栄養教育論実習	前田 朝美						
	3336	実践介護食事論	西田 由香						
	3339	臨床栄養学実習	西田 由香						
	3343	地域健康栄養学	白戸 里佳						
	3344	公衆栄養学実習	白戸 里佳						
	3348	栄養管理総合演習	西田、妹尾、白戸						
3509	家庭科教育法Ⅳ	葛西 美樹							
3516	事前事後指導(中・高)	葛西・工藤(寧)							
3519	栄養教育実習(事前事後指導を含む。)	前田・今村							

※ 網掛部分は卒業必修科目 東北女子大学FD委員会(問合せ先:FD委員会)

《児童学科》											
開講 クラス	科目番号	科目名	担当教員名	回答確認欄	開講 クラス	科目番号	科目名	担当教員名	回答確認欄		
1C	2101	倫理学	齋藤 雅俊		2C	2134	英語Ⅳ	杉本 久美子			
	2103	日本国憲法	小野 昇平			2136	独語Ⅱ	比内 馨			
	2124	生物学	友田 志郎			2203	保育の心理学(1)	三道 なぎさ			
	2126	統計学	小林 琢哉			2208	教育課程論	本山 敬祐			
	2132	論文技術Ⅱ	船水 周			2215	ICTの基礎(2)	友田 志郎			
	2134	情報機器の操作Ⅱ	奈良 拓哉			2302	国語(2)	船水 周			
	2142	英語AⅡ	保村 和良			2303	書道	工藤 昌樹			
	2144	英語BⅡ	杉本 久美子			2304	社会A	本山 敬祐			
	2162	体育Ⅱ	大島・神			2305	社会B	石戸谷 繁			
	2203	教育心理学	小林 琢哉			2316	音楽表現Ⅱ(2)(声楽)	諏訪 才子			
	2206	保育の心理学	三道 なぎさ			2318	音楽表現Ⅲ(2)(器楽) (※担当の教員一人のみ回答)	一戸 智之			
	2208	ピアノ基礎Ⅱ (※担当の教員一人のみ回答)	櫻庭 由美					櫻庭 由美			
			吉松 恵美					吉松 恵美			
			古川 佳子					古川 佳子			
			齋藤 雅俊 他								
	2221	基礎ゼミⅡ	齋藤 雅俊 他					2320	造形表現Ⅰ(2)(美術)	長尾 明義	
	2231	家庭管理学概論	工藤 寧子					2322	造形表現Ⅱ(2)(工芸)	岩井 康頼	
	2232	被服学概論	葛西 美樹					2325	身体表現(2)	佐藤 睦子	
	2233	食物学概論	富田 雅弘					2346	教育方法・技術	花田 裕	
	2309	生活	長尾 明義					2351	言葉の指導法	船水・吉田	
	2311	音楽Ⅱ	一戸・諏訪			2357	保育研究(B)	小関 潤子			
	2503	子ども人間関係	吉田 裕美子			2376	保育者論	安川 由貴子			
	2504	子どもの環境	長尾 明義			2377	保育課程論	安川 由貴子			
	2601	保育内容総論	安川 由貴子			2381	子どもの保健Ⅰ(2)	松尾 泉			
	2808	乳児保育Ⅰ	松宮 ゆり			2386	乳児保育(2)	松宮 ゆり			
	2812	社会的養護Ⅱ	増田 貴人			2392	保育実習Ⅰ(1)	保育士課程委員会	実施しない		
3C	2206	臨床心理学	三道 なぎさ		2393	保育実習Ⅰ(2)	保育士課程委員会	実施しない			
	2217	ICT活用法(2)	奈良 拓哉		2209	卒業論文		実施しない			
	2224	児童心理学実験	小林 琢哉		2221	児童社会学(2)	本山 敬祐				
	2326	家庭科実習	葛西・今村		2222	児童教育学演習	長尾 明義				
	2332	教育史	齋藤 雅俊		2226	人権教育論	佐々木 隆				
	2335	国語科教育法	船水 周		2360	教職実践演習(幼・小)	齋藤 雅俊 他				
	2336	社会科教育法	石戸谷 繁		2364	学校教育体験実習Ⅱ(小)	教職課程委員会	実施しない			
	2337	算数科教育法	高橋 信進		2372	相談援助	西 敏郎				
	2338	理科教育法	花田 裕		2374	児童家庭福祉(2)	小野 昇平				
	2339	生活科教育法	長尾 明義		2384	家庭支援論	工藤 のぶ				
	2340	音楽科教育法	一戸 智之		2396	保育実践演習	安川 由貴子				
	2341	図画工作科教育法	蝦名 敦子								
	2342	家庭科教育法	葛西・今村・工藤(寧)								
	2343	体育科教育法	上野 秀人								
	2350	環境の指導法	佐藤 崇之								
	2353	表現の指導法Ⅰ(2)	諏訪 才子								
	2355	表現の指導法Ⅱ(2)	岩井 康頼								
	2371	社会福祉	小野 昇平								
	2395	保育実習Ⅱ	保育士課程委員会	実施しない							
	※	網掛部分は卒業必修科目									
【東北女子大学Wi-Fi】											
ID: tojo-wifi											
パスワード: sakura-2019											

各 位

FD 委員会

Web による「授業改善」のための調査実施のお願い

講義最終日または 14 回目の講義内で、5～10 分程度調査回答のための時間を設けて回答させてください。(講義内に回答させると、回答率が非常に高くなります。)

学生には事前に別紙「2019 年度 前期 「授業改善」のための調査の実施について」を配布していますので、それを元に回答させるようお願い致します。

調査について質問があった場合は、FD 委員会まで問い合わせるようお願いください。

この調査は、大学の自己点検・自己評価の資料として、FD に関連して実施するものです。後日、担当している科目の調査結果をお渡し致します。先生方の授業改善のためにお役立て頂きたいと思えます。

なにとぞ、主旨をご理解の上、ご協力頂きたくお願い致します。

◇ 調査を始める前に学生に下記の事項を読んでください。

1. 【一般講義室での講義の場合】

スマートフォン、携帯電話等を出して、「授業改善」のための調査の回答画面を開いてください。

【コンピュータ室で実施している講義の場合】

共有フォルダ内の「_2019 前期授業改善のための調査」を開いてください。

【体育館・音楽室等の場合】

(学内の無線 LAN が使用できませんので、講義終了後に各自必ず回答するようお願いいただくか、一般講義室へ移動して回答させてください。)

2. (授業の科目番号、科目名を読み上げて、) この科目について調査に回答してください。自由記述欄もできるだけ記入してください。

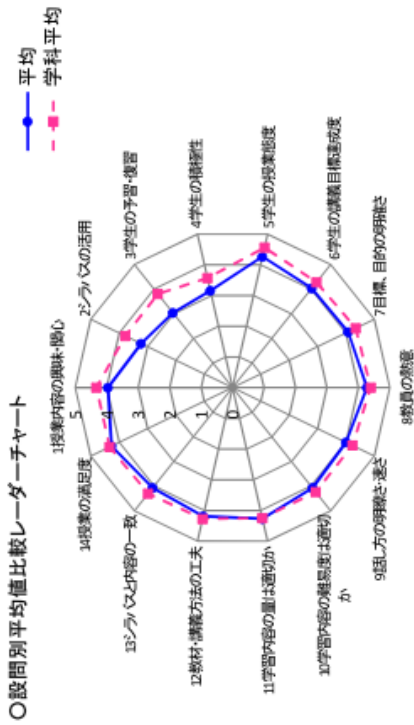
3. 電波が弱い、接続ができない、端末がない等で、講義内での回答ができない学生は、講義終了後にコンピュータ実習室のパソコンにて、速やかに回答してください。

20**年度 ○期 学生による授業改善のための調査 集計結果表 (科目別)

科目番号	5555
科目名	*****
教員名	○○○○

対象学科	○年**学科
授業形態	演習
教員番号	***

履修者数	31名
回答者数	26名
回答率	83.9%
全学平均回答率	60.6%



○自由記述

○項目別回答分布(人数と平均値)

区分	項目番号	設問文	回答分布(人)					平均	学科平均
			5	4	3	2	1		
学生自身について授業の取組評価	1	授業の内容に興味・関心を持つことができた	5	16	4	1	0	4.0	4.3
	2	この授業のシラバスをよくチェックした	3	6	11	6	0	3.2	3.8
	3	この授業のために予習・復習をした	2	5	12	6	1	3.0	3.8
	4	この授業で質問等を積極的にした	2	8	10	4	2	3.2	3.6
	5	授業とは関係のない行為(私語や携帯電話の使用など)をしなかった	12	9	5	0	0	4.3	4.6
	6	総合的に判断して自分はこの講義の目標を達成することができたと思う	8	12	5	1	0	4.0	4.3
授業についての評価	7	この授業の目標、目的は明確であった	9	11	5	1	0	4.1	4.3
	8	この授業において、教員の熱意が感じられた	11	11	4	0	0	4.3	4.4
	9	教員の話し方は明瞭でかつ適切な速さであった	9	10	6	0	1	4.0	4.2
	10	この授業の学習内容の難易度は適切であった	8	13	4	1	0	4.1	4.2
	11	この授業の学習内容の量は適切であった	12	10	3	1	0	4.3	4.3
	12	この授業では理解向上のために、教材や講義の方法などの工夫がなされていた	10	12	3	1	0	4.2	4.3
	13	シラバスと授業内容が一致していた	8	12	6	0	0	4.1	4.3
評総	14	Q1からQ13までを総合的に考慮してこの授業で満足いく学びを得ることができた	11	11	4	0	0	4.3	4.3